

## 1 月例会のおしらせ

主 題：気象電気シンポジウム

会 期：昭和39年1月21日（火）9時20分より

会 場：東京理科大学理恵会館会議室

午前 総合報告 司会 田村雄一

1. 内川規一（気象庁）：ラジオゾンデ観測による自由大気中の気象電気研究の近況（30分）
2. 竹内利雄（名大）：雷放電の多点観測（30分）
3. 小川俊雄（京大）：ニューメキシコにおける雷研究（30分）
4. 北川信一郎（気研）：雷雲と Micro Wave Radiation（20分）

午後 総合報告の討論と研究発表

1. 川野実（名大工）：大気中における自然放射能研究の二、三の成果（15分）
2. 田村雄一（京大）：対地放電後の電場回復と雷雲の電気的構造（15分）
3. 佐賀春洋（京大）：しぐれにとまなう電場変化型の統計（15分）
4. 石川晴治（名大）：雷鳴源の標定（15分）
5. 北川信一郎（気研）：雷鳴の衝撃波伝播の範囲（10分）
6. 高木増美（名大）：雷放電と VHF Radiation（15分）
7. 柳原利夫・近藤五郎（北磁気）：ELF空電の観測（20分）

主 題：太陽活動と放射

会 期：昭和39年1月31日（金）13時30分より

会 場：気象庁第一会議室

1. 村井漢三・関原 豊（気研高物）：日射および周辺光の観測（20分）
2. 関原 豊（気研高物）：オゾン層下部に対するX線作用の考察について（20分）
3. 須田滝雄（気象大）：上層気圧の1日変化と太陽活動（続）（20分）
4. 朝倉 正（気象庁長期予報）：成層圏循環の季節変化（20分）

特別講演

山本義一（東北大理）：アメリカにおける放射観測について（30分）

西 恵三（東京天文台）：コロナ観測からみた太陽面現象について（60分）

主 題：気候「気候異変の地域性」と「日本の大雨分布」

会 期：昭和39年1月24日（金）9時30分より17時まで

会 場：気象庁第一会議室

第2部講演題目（主題関係）

1. 根本順吉（気象庁）：1962～63年冬の半球的にみた気温分布について（15分）
2. 土屋 巖（気象庁）：気候変動と気候異変の地域性（20分）
3. 長尾 隆（気象大）：小地域内の気候変動（20分）
4. 保柳睦美（都立大）：乾燥地域と雪線の変動（20分）
5. 矢沢大二（都立大）：日本の気候変動と地域区分（20分）
6. 鈴木栄一（気研）：本邦における降水量の変動特性について（20分）
7. 吉野正敏（教育大）：梅雨期における異常降水量の地域性（20分）
8. 浅井辰郎・羽田野孝通（資源研）：北九州33地点における豪雨日量の再現期間とその地形的差異（20分）
9. 河村 武（東管）：温帯低気圧による降水分布の綜観気候学的解析（20分）
10. 水越允治（三重大）：日本の大雨の地域分布（20分）

総合報告

関口 武・岩崎尚・谷治正孝（教育大）：日本の大雨分布の分布解析（60分）

2月のレーダー気象 月例会の会期、会場はつぎの通りです。

主 題：レーダー気象 会 期：2月18日（火）16～21時 会 場：半士会館

## 3 月例会の研究発表募集

日本気象学会第13回航空気象シンポジウム

会 期：昭和39年3月10日（土）

会 場：大阪空港 AAS ホール

1. 午前（09.00～12.00）

セミナー

国際航空気象の Technical Procedures

国際航空気象の Technics

2. 午後（13.00～16.00）

シンポジウム

航空気象の将来の方向

話題提供者

イ. 国際および国内航空の将来（日本航空）

ロ. 国際航空気象の将来（東航気）

ハ. 国内航空気象の将来（大阪航測）

ニ. 討論

主 題：豪雷とメソ気象

会 期：3月

会 場：未定

申込先：東京都杉並区馬橋4-499 気象研究所内

相原正彦

メ切期日：1月31日